

サンプル

著者

2023 年 4 月 24 日

目次

1	文書処理系の説明	1
1.1	キーワード	1
1.1.1	TeX	2
2	図書館の自由に関する宣言	2
2.1	第 1 図書館は資料収集の自由を有する	3

1 文書処理系の説明

この文書処理系について説明する。

1.1 キーワード

- [TeX\(ref\)](#)
 - [TeX Live](#)
 - [L^AT_EX\(ref\)](#)
 - * [LuaLaTeX](#)
 - * [BibLaTeX](#)
 - * [biber](#)
 - [latexmk](#)
- [Pandoc](#)
- [docker](#)

1.1.1 TeX

以下は、texwiki からの引用です

TeX はフリーの「組版システム」です。すなわち、活版印刷のような「文字や図版などの要素を紙面に配置する」という作業をコンピュータで行います。

<https://texwiki.texjp.org/>

1.1.1.1 TeXLive

TeX-Wiki, 2023[†] では、「TeX Live は TeX のディストリビューションです。TeX の超巨大な集大成ともいえるもので、現在では国際的に最も普及している最新の TeX ディストリビューションです。」

なお、見出し 4 は目次に入りませんが、`config/package-config.tex` の `\setcounter{tocdepth}{3}` をいじることで変更が可能です。

2 図書館の自由に関する宣言

これは、サンプルのために掲載している

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする。

1. 日本国憲法は主権が国民に存するとの原理にもとづいており、この国民主権の原理を維持し発展させるためには、国民ひとりひとりが思想・意見を自由に発表し交換すること、すなわち表現の自由の保障が不可欠である知る自由は、表現の送り手に対して保障されるべき自由と表裏一体をなすものであり、知る自由の保障があってこそ表現の自由は成立する。知る自由は、また、思想・良心の自由をはじめとして、いっさいの基本的人権と密接にかかわり、それらの保障を実現するための基礎的な要件である。それは、憲法が示すように、国民の不断の努力によって保持されなければならない。
2. すべての国民は、いつでもその必要とする資料を入手し利用する権利を有する。この権利を社会的に保障することは、すなわち知る自由を保障することである。図書館は、まさにこのことに責任を負う機関である。
3. 図書館は、権力の介入または社会的圧力に左右されることなく、自らの責任にもとづき、図書館間の相互協力をふくむ図書館の総力をあげて、収集した資料と整備された施設を国民の利用に供するものである。
4. わが国においては、図書館が国民の知る自由を保障するのではなく、国民に対する「思想善導」の機関として、国民の知る自由を妨げる役割さえ果たした歴史的事実があることを忘れてはな

らない。図書館は、この反省の上に、国民の知る自由を守り、ひろげていく責任を果たすことが必要である。

5. すべての国民は、図書館利用に公平な権利をもっており、人種、信条、性別、年齢やそのおかれている条件等によっていかなる差別もあってはならない。外国人も、その権利は保障される。
6. ここに掲げる「図書館の自由」に関する原則は、国民の知る自由を保障するためであって、すべての図書館に基本的に妥当するものである。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

2.1 第1 図書館は資料収集の自由を有する

1. 図書館は、国民の知る自由を保障する機関として、国民のあらゆる資料要求にこたえなければならない。
2. 図書館は、自らの責任において作成した収集方針にもとづき資料の選択および収集を行う。その際、
 1. 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 2. 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
 3. 図書館員の個人的な関心や好みによって選択をしない。
 4. 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりはしない。
 5. 寄贈資料の受入にあたっても同様である。図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館および図書館員が支持することを意味するものではない。
3. 図書館は、成文化された収集方針を公開して、広く社会からの批判と協力を得るようにつとめる。

参考文献

Suzuki, T. (2009). Extracting Speaker-Specific Functional Expressions from Political Speeches Using Random Forests in Order to Investigate Speakers' Political Styles. *Journal of the American Society for Information Science and Technology*, 60 (8), 1596–1606.

TeX-Wiki (2023). TeX Live - TeX Wiki.(²).

鈴木 崇史・影浦 峯 (2011). 名詞の分布特徴量を用いた政治テキスト分析 行動計量学, 38 (1), 83–92.